

かつやまエコチャレンジ

かつやまエコチャレンジとは

市内の小・中学生が、各家庭で取り組めるエコ活動を選び、それを夏休み期間に実践していく活動

昨年の2倍以上が参加

今年は、小学3、4年生も参加対象に加えたことや、東日本大震災以降の省エネ等の関心の高まりから、昨年の約2倍となる1010の家庭が参加しました。

身近なことから取り組む

今年は、ご家族の方にも一緒に取り組んでいただきました。その結果、「使っていない部屋の電気をこまめに消す」や「冷房の設定温度を28度にする」など、節電への取り組みや節水、ごみの減量化など、身近なことから取り組んだ方が多かったです。

さまざまなエコアイデア

家庭で実践しているエコアイデアを募集したところ、「グリーンカーテンを設置した」「エアコンを使うときは、家族が1つの部屋に集まる」など、さまざまなアイデアが寄せられました。

かつやまエコチャレンジをきっかけに、1年を通して環境保全を意識した生活を送れるように、家族や友達と協力して、できることから始めてみましょう。

取り組みの多かったエコチャレンジ目標

エコチャレンジ目標	子ども	家族
使っていない部屋の電気をこまめに消す	902	869
歯をみがく時は水を止める	873	784
冷房の設定温度は28度にする	809	794

福井県内の交通事故死者数増加率が

全国ワースト1!

県内の交通事故死者数が、11月末現在で54人にのぼり、すでに昨年の年間死者数42人を大きく上回っています。

なお、交通事故死者数の増加率（前年同月比180%）および高齢者の死者数の増加率（同189%）が全国で最悪の状況となっています。

勝山市の死者数は、11月末現在で4人、このうち3人が高齢者となっています。



これから忘新年会など、飲酒の機会が増える時期です。また降雪や路面凍結による交通事故が懸念されます。交通规则を守り、安全運転に心がけましょう。

年末の交通安全県民運動

12月11日～20日

ピカジャンで交通事故防止

夜間の歩行の際にピカジャン（損害保険付きのジャンパー）を着用することで、ドライバーにいち早く気付いてもらうことができます。蛍光色で反射材もついているため、夜間でもよく目立ちます。



- ◆ジャンパー 1,600円（市内の方）
- ◆ベスト 850円（市内の方）
- ☎ 勝山交通安全協会（勝山警察署内） (087-0968)

勝山南高校も環境美化活動に取り組んでいます



生徒会が作成した美化啓発ティッシュと高校のロゴ入りマイバッグを配りました。

11月4日 サンブラザ



教職員や保護者とともに、全校生徒で堤防の草刈りを行いました。

11月9日 弁天河原



11月22日 市役所

「環境行政に役立てて」と寄附



11月25日 市役所



12月2日（車種：日産「リーフ」）

電気自動車を導入しました!

村岡町連合壮年会が

知事表彰を受賞!

10月25日（火）、福井市内で開催された「第29回福井県交通安全県民大会」において、交通安全県民大会において、村岡町連合壮年会が「平成23年度交通安全功労者等表彰福井県知事表彰 交通安全功労団体」を受賞しました。

村岡町連合壮年会は、30年以上の長期にわたり、交通安全茶屋を開設し、通行車両のドライバー等に交通安全祈願マスコットや交通安全チラシを配布するなどの啓発活動を続けてこられました。

関西学院大学かつやまセミナー

東日本大震災に学ぶ災害に強いまちづくり

入場無料

2011 12/17

福祉健康センター「すこやか」
午後6:30受付 / 午後7:00開会



講師
関西学院大学
総合政策学部教授
まさき よしてる
室崎 益輝 氏

■プロフィール
1944年8月、尼崎市生まれ。2008年より現職。京都大学防災研究所客員教授、日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、中央防災会議専門委員、人と防災未来センター上級研究員、海外災害援助市民センター副代表などを歴任。

東日本大震災以降高まった、防災、減災の意識をまちづくり、地域づくりに活かす方策を探りましょう。

※市民大学特別企画講座として、1単位認定します
※託児室を設置します
☎ 未来創造課（市役所2階） (087-1115)

宝くじ収益金でまちづくり

宝くじの収益金を活用した、(財)自治総合センター「コミュニティ助成事業」の助成を受けてまちづくりを推進しています。



【高島区】

区民の各会組織活動の推進を図るため、除雪機と視聴覚機器を購入しました。

